

2024年5月14日

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、下記の検査項目を新たに受託開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

今後も弊社では皆様方のご要望にお応えできるよう、検査内容を充実させて参りますので、何卒お引き立ての程宜しくお願い申し上げます。

敬白

記

【新規受託項目】

セットコードNo.	検査項目名	
77474 (従来システム 9136)	＜甲状腺癌を対象とする癌遺伝子変異解析＞ 甲状腺癌オンコメインマルチCDx 2遺伝子	FFPE
77475 (従来システム 9137)		凍結組織

この度、甲状腺癌・甲状腺髄様癌を対象とした遺伝子変異解析検査「オンコメイン™ Dx Target Test マルチ CDx システム」におきまして、現行の解析対象遺伝子(RET)に加え、新たに BRAF 遺伝子が追加承認されました。

BRAF 遺伝子 V600E 変異の有無を検出することにより、分子標的薬である「エンコラフェニブ(ビラフトビ)」及び「ビニメチニブ(メクトビ)」併用投与の適応判定の補助に関する情報を提供いたします。

検出対象遺伝子変異など	癌種	関連する医薬品
RET融合遺伝子	甲状腺癌	セルペルカチニブ
RET遺伝子変異	甲状腺髄様癌	
BRAF遺伝子V600E変異	甲状腺癌	エンコラフェニブ及び ビニメチニブの併用投与

【開始時期】2024年5月20日(月) ご依頼分より

- 当該検査の受託開始に伴い、現行の甲状腺癌オンコメインマルチ CDx(コード No.77447, 77448)は2024年5月30日(木)ご依頼分をもって検査の受託を中止させていただきます。

尚、詳細につきましては、営業担当者またはインフォメーションまでお問い合わせ下さい。

本社 〒710-0834 倉敷市笹沖 468 番地の 5

インフォメーション TEL(086)427-2323

ホームページ <http://www.oml-inc.jp>

【受託要領】

セットコード No.	77474(9136)	77475(9137)
検査項目名	甲状腺癌オンコメインマルチCDx 2遺伝子 (FFPE)	甲状腺癌オンコメインマルチCDx 2遺伝子 (凍結組織)
セット内容	14069(6384) : 甲状腺癌オンコメインマルチCDx (FFPE)/核酸抽出 14070(6385) : 甲状腺癌オンコメインマルチCDx (FFPE)/変異解析	14071(6386) : 甲状腺癌オンコメインマルチCDx (凍結組織)/核酸抽出 14072(6387) : 甲状腺癌オンコメインマルチCDx (凍結組織)/変異解析
検体量	未染色スライドまたはパラフィン切片5 μ m厚 5~10枚	組織 100mg
採取容器	36	36
保存方法	室温	凍結
検査方法	次世代シーケンス(NGS)法	
基準範囲	なし	
単位	なし	
所要日数	10~13日	
報告範囲	【別紙報告】 対象となる遺伝子変異などについて「陰性」あるいは「陽性」 加えて測定機から出力されるテストレポートもご報告します。	
検査実施料	8000点 (D004-2 悪性腫瘍組織検査 「1」悪性腫瘍遺伝子検査 「ロ」処理が複雑なもの 注2 イ 2項目)	
判断料	100点 (遺伝子関連・染色体検査)	
備考	専用依頼書にてご依頼ください。	

[出検時の注意事項]

- 本検査の実施にあたり、提出される検査材料には腫瘍細胞が 30%以上含まれていることをご確認の上、ご提出ください。腫瘍細胞含有率が 30%に満たない場合はマクロダイセクションの実施が必要となります。その際は、全ての未染色スライドの裏面に油性ペン等で腫瘍部位を囲うようにマーキングをお願いいたします。また、標本のサイズが小さい(生検組織など)検体は、予め多めに検体を出検していただくことで(20 枚前後)検査に必要な核酸収量を確保できる可能性が上がりますので、ご検討いただくようお願いいたします。
- ホルマリン固定検体では、固定条件(ホルマリンの種類、固定時間)によって核酸の断片化が生じ、解析不能となる可能性があります。検体の取り扱いに関しましては各種ガイドラインなどを参照してください。
<推奨される固定条件>
 - ・ホルマリン : 10%中性緩衝ホルマリン
 - ・固定時間 : 手術検体 18~36 時間、生検検体 4~24 時間
- 本検査の実施に関しては検査の目的および結果の解釈や取り扱いについて、患者への十分な説明の上、検査実施の同意を得られたことを前提にご依頼いただくようお願いいたします。
- 本検査は核酸抽出から解析までを一連の検査として実施するため、核酸の濃度不足などで検査実施が困難な場合や解析不能となった場合でも所定の検査費用が発生することを予めご了承ください。

《検査方法の参考文献》

Mehrotra M.et al.:PLoS One 12(8), e0181968, 2017.

以上